

1 指導概要

教科		科目		
公民		政治・経済	単位数： 2 単位	
② 指導目標：国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身につける。				
メディア視聴	あり	60%	教科書	『政治・経済』東京書籍
スクーリング	1 単位時間×2 回	合格時間数 2 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	現代日本の政治 1 法と民主政治 2 日本国憲法の制定と基本原理 3 基本的人権の保障	第 1 回 (4/30)	第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> 法の意義や、「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解する。また大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解する。 「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきかを考える。 国会の権限や組織、運営について理解する。 内閣の権限や内閣と国会の関係について理解する。 司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、裁判員制度について理解する。 日本の地方自治にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきかを考える。
2	日本の政治機構・現代政治の特質と課題 1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法 4 地方自治	第 2 回 (5/30)		<ul style="list-style-type: none"> 希少性やトレードオフなど経済活動の基本原則について理解する。 今日の資本主義経済にはどのような課題があるかを考えさせる。 戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本
3	現代日本の経済 1 経済活動の意義 2 資本主義経済の発展と変容 3 生産のしくみと企業 4 市場経済の機能と限界	第 3 回 (6/30)		<ul style="list-style-type: none"> 経済の変遷と産業構造の変化について理解する。 これからの日本の農業と食料はどうあるべきかを考える。 労働問題が発生する理由や、憲法や労働三法が保障する労働者の権利について理解する。
4	日本経済の発展と現状 1 戦後日本経済の発展 2 農業・食料問題 3 雇用と労働問題	第 4 回 (7/30)		第 2 回
5	現代日本の諸課題・国際政治のしくみ 1 地域社会の活性化 2 多様な働き方・生き方の実現 3 国際政治の特質	第 5 回 (8/30)		<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の現状について理解する。 性別にかかわらず働きやすい労働環境はどうすれば実現できるかを考える。 主権国家と国際社会の形成過程や、国際社会の特徴について理解する。また、国際連合が抱

	4 国際連合の役割と課題			える課題について考える。
6	現代の国際経済・国際社会の諸課題 1 貿易と国際収支 2 戦後国際経済体制の展開 3 人口・貧困・感染症 4 国際的な経済格差の是正	第6回 (9/30) 提出期限 (11/30) ※提出予備日 (1/15)		<ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義や、国際収支の各項目に反映される経済取り引きについて理解する。 ・先進国から発展途上国への資金の流れがどのようになっているか理解する。 ・持続可能な社会の形成に向けて国際社会はどのように取り組むべきか考える。また、貧困と開発援助の現状について理解する。

2 評価の観点

知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3 評価の方法

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。最近の出来事を知ることが重要なので、親御さんに聞いてみるのもいいかもしれません。